



IDL II コンバージョン・サービス

IDL II 言語を COBOL に変換します。

ファイル処理系

	アクション	概要
1	CONCATENATE	ファイル上のレコードのデータを順次連結し、制御切れ等の時点で出力ファイルにレコードを出力する
2	EDIT	入力レコードを編集し、条件で切り分けて任意のファイルに出力する
3	JOIN COND	マスタファイルを検索し、入力ファイルから読み込んだレコードと結合する
4	JOIN SEARCH	マスタファイルを検索し、入力ファイルから読み込んだレコード 1 件に対して、マスタファイル上の複数件のレコードを検索／結合する
5	MAINTAIN	マスタファイルに対して変更、削除、登録を行う
6	MAINTAIN MULTIPLEX	マスタファイルに対して変更、削除、登録を行う。入力した 1 レコードに対し、1 マスタファイルの複数件のレコードを検索出来る。
7	MATCH DUPLICATE	付き合わせ処理を行う（重複キーあり）
8	MATCH UNIQUE	付き合わせ処理を行う（重複キーなし）
9	REPORT	帳票作成
10	SEPARATE	入力レコードの 1 次元配列を先頭から 1 要素ずつ分離し、別々のレコードとして出力する
11	TOTALIZE	レコードの集計

画面処理系

	アクション	概要
1	INQUIRE DETAIL	画面の入出力動作 + ファイルの読み込み（複数レコード）
2	INTERACT	画面の入力を行い、画面／帳票に出力する
3	MAINTAIN	マスタファイルに対して変更、削除、登録を行う
4	MAINTAIN MULTIPLEX	マスタファイルに対して変更、削除、登録を行う
5	INQUIRE 注 1	画面の入出力動作 + ファイルの読み込み
6	INQUIRE MULTIPLEX 注 2	画面の入出力動作 + ファイルの読み込み（複数レコード）

備考

注1 INQUIRE、INQUIRE MULTIPLEX は、変換ツールのカスタマイズにより対応可能

注2 JOIN COND と MAINTAIN など、複数のアクションの組み合わせも可能です。